

2024年度 第6回 運営推進会議 議事録

- 1 日 時 令和7年3月31日(月) 15:00～16:00
- 2 場 所 地域密着型小規模特別養護老人ホームはぎの郷 地域交流スペース
- 3 出席者(敬称略)
 - 利用者: ○野○恵
 - 利用者家族: ○野○治 ○水○
 - 地域代表: ○戸○夫(民生委員)
 - 地域包括支援センター: ○本○美
 - 市職員: ○田(法人指導課)
 - 事業所: 宮武昭彦(施設長) 藤原麗子(介護支援専門員)
 - 菅原あずさ(介護職員)
 - 欠席者: ○田○高(自治会長) ○本○一(特別養護老人ホームうおずみ施設長)

4 会次第内容

(1) 開会の挨拶、施設長挨拶

2024年度の第6回の運営推進会議を始めさせていただきます。

お忙しい中、お時間頂きまして有難うございます。

まず皆さんの自己紹介から始めさせていただきます。

(2) 出席者の自己紹介

出席者より自己紹介いただき会次第に入る。

(3) 「はぎの郷」の現状報告(介護支援専門員)

現状報告(令和7年2月28日現在)を用いながら入居者の状況及び事業所が取り組んでいるサービス内容を報告する。

5 質疑応答・意見交換

(介護支援専門員):

本日欠席されています、有識者T様より事前に質問がございましたので、その内容と返答をさせていただきたいと思います。

- ① 「事故報告、ヒヤリハット報告においてD様においては座位保持が難しい、ご自身で前かがみになられたりしていますが、その都度の対応方法以外に何か対応策は考えにくいでしょうか？」

- ② 「同じく、事故報告、ヒヤリハット報告においてG様においては転倒されてしまっている状況。A様においても床で横になっておられる状況での発見になっています。行動の確認と姿勢の確認以外に何か対策は考えにくいでしょうか？A様は比較的午前中に起こっているように思われますので本人の覚醒状況の確認等もひとつなのではと思います。」
- ③ 「『介護人材確保・職場環境改善等に向けた総合対策』への支援について、はぎの郷様におかれましてはどのように対応を考えておられますか？介護テクノロジーについては眠りスキャンを活用されておられるので処遇改善になるのでしょうか？教えていただけると幸いです」

以上、この3点になります。

まず、①②の質問のA様、D様、G様ですが、普段から頻繁にヒヤリや事故報告で名前が挙がっている方たちになります。3人様とも共通している所があり自身で車椅子で動かれる・姿勢が崩れている、傾眠がちな時に臥床を促しても拒否されたり、臥床していただいても、その場ですぐ足を床に下ろして起きようとされる等、臥床して身体を休めていただくのが難しい方たちになります。姿勢が崩れやすいので車椅子を別の物に変更し試してみたのですが効果が無くリクライニングの車椅子を使用する方が、ずり落ちる危険は無くなると思いますが、自身で動く事を制限することになり、身体拘束になってしまう。手すりを持ち、手の力で前に進もうとして、身体がついて来ず前のめりになってずり落ちたりされているので、この3名様に関しては、状況を見ながら座り直していただき姿勢を直していくなどその都度の対応をしていくしかない状況です。何か、他にこのような対応をしてはどうかと言う提案があれば、アドバイスいただけたらと思っております。職員も頻繁に所在確認や、姿勢を直す事は頻繁に行ってはいます。

ご意見：（民生委員）

月3回とかヒヤリで挙がってきていますね。大体が車椅子がらみのヒヤリだと思いますが、なかなか難しい。運動を制限してしまう事になりますものね。車椅子で転倒して大きな事故にならないのが幸いと言うか。

（介護支援専門員）：

おっしゃる通りで、この程度で済んでいる。それまでも職員が対応して、大きな事にならない様にしているので、このくらいで済んでいると思います。ただ繰り返すと、大きな事故にならないか心配ではあります。

ご意見：（民生委員）

ヒヤリハットなど時系列で書かれていますよね。例えばこの方はどの様な行動をされているのかとか、どんな範疇のヒヤリハットがあるのか等、個人個人で

例えば2か月でA様が事故が6件ありました。となるとA様の事故の6件が表になって出てくるとかあると分かりやすいと思うのですが、まとめる大変さはあると思いますが。報告書の原本は一樣で、〇様はこのようなヒヤリハットでと個人のファイルに挟まれて、1年でこの方はこれだけ事故があったと分かるようになっているのだと思うのですが。

(介護支援専門員)：

介護用の入力ソフトが有るので、事故などあればそこに入力していくので、見ると何件事故があったなどのデータが見やすく出てきます。

ご意見：(民生委員)

A様の担当の方と言うのは、お1人なのか、何人の方から報告されて4件ありましたなのか、同じ方が4件報告されているのですか？

(介護支援専門員)：

誰が担当とは決まっていなくて、発見された職員がヒヤリハットであったり事故報告を挙げています。些細な内容のヒヤリ等はもっとあると思いますがその中でも気になった内容を報告として挙げています。報告として挙がっている物が1枚につき1件のヒヤリハットや事故報告と捉えていただけたらと思います。

ご意見：(民生委員)

分かりました。

ご意見：(利用者家族)

一つお伺いしたいのですが、車椅子で移動する時に姿勢が悪い人が結構いると思うのですが、姉を病院に連れていくときに姿勢が崩れたりすることがあるんです。その時に車椅子に身体を固定するシートベルトがあれば、安心して車にも乗せられるんですけど。そういう仕様はないのでしょうか？(介護用の車を買われているので、車椅子に乗せたまま車に乗せられ受診に行かれている)

(施設長)：国の方で決まりがありまして、本人の転倒の予防も大事なのですが、本人の動きを拘束することが禁止されてしまっているのです、当施設は身体拘束ゼロ宣言を挙げてまして、ベルトなど使用する身体拘束が法律的に出来ない。もちろん例外の法律はあるのですが、基本的にはうちの施設はしないと決めてまして。ただ家族様が病院に行くときに施設を出て、安全の為に家族様がベルトを購入されて使用される事は問題ないです。施設でベルトを用意して使用して病院に連れて行って下さいと言うと、施設が身体拘束をしたことになってしまうので。家族様は介護のプロでは無いので、安全対策として家族様で用意して施設を出てから使用する判断はお任せする。で、法人指導課としても問題は無いですか？

ご意見：(法人指導課) はい。そうですね。

ご意見：(利用者家族) 車の急ブレーキを掛けた時に、姿勢が不安定になって落ちそうになる事が有りますので、その時に車椅子にシートベルトがついていれば、そういう事が防げるんじゃないかなと思ひまして。

(施設長)：そうですね。おっしゃる通りだと思います。施設内だと平地なのでそのような心配は無いですが、車に乗る時に安全の為に施設を出てからベルトつけていただいたり車に乗った時にシートベルトを使用して対応していただけたら。

ご意見：(利用者家族)
腰の所のベルトはついているのですが、斜めにかかるシートベルトがついていないんです。

(施設長)：補助的な物を何か家族につけていただいて。なかなか無いものですか？

ご意見：(利用者家族)
有ればなと思ひて。ベルトは車に固定するものはついていますから大丈夫なのですけど。

(施設長)：あまり前のめりになられるのであれば、リクライニング車椅子で少し斜めにするなど方法はあるかもしれませんが。

(介護支援専門員)：
ガタガタした道の移動で、前のめりになり危険であるなら、車椅子で使う Y 字ベルトと言われるものはありますが個別で買っていただくしかないです」

(施設長)：せっかくの有識者が集まってる会議なので、包括さんは何か良いアイデアは無いですか？

ご意見：(地域包括支援センター)
クッションを入れて姿勢が崩れない様にするか、姿勢をこまめに直していくか床にしっかり足をついていただくしか。補助具を使ってと言うのはしていないので、上手くアドバイス出来ないのですけど。あとは坂道を降りる時は後ろ向きに降りるなどの基本的な所かな。でもそれ以外が有るから困るのですよね。

(施設長)：そうですね。法人課の方はどうですか？

ご意見：(法人指導課)
専門では無いのですが、しかし福祉用具の事業所の方に尋ねてみるのはどうでしょうか。福祉用具で何か使えそうなものがあれば、道具に頼るのもひとつの手かなと思ひます。知識やテクニックとなると家族様には難しい事も有るかなと思ひますので。

(施設長)：もし良かったら、うちに出入りしている福祉用具の事業所の方がいますのでご紹介させていただき、もしかしたらよい道具があるかもしれませんので、一度確認させていただいて、あれば連絡させていただきます。

ご意見：(利用者家族)
分かりました。

(施設長)：③のまず介護人材の確保と言う所に関しては、外国の職員が勤務していま

す。我々はネパールに介護の学校と、日本語学校を直接作りまして、その中でいつも同じ話になってしまうのですが、孤児の施設の子達が18歳になれば働く場所がネパールには無いという事で、子供たちを無償で入れてあげて勉強して、実際ここに来て働きに来ています。私が年に4回ネパールに行っていますので、子供たちは私の事をパパと呼んでいます。その子達も働くチャンスが我々が提供しながら、我々施設も助けて貰いながらお互いがネットワークで良くなっていく形で、その趣旨で外国の子達が働いております。

もう一つテクノロジー、ICTに関しては眠りスキャンに今年補助金が付きましたので眠りスキャンi、カメラを設置させていただいております。これはプライバシーの時間は見ておらず、夜間であったり、眠りスキャンが反応した時にカメラを見ますので、立ち上がろうとしている、転倒しそうになっている時に、居室に走っていき手助けをするとか、支援が出来るような体制を取って、職員の労力を減らす部分と利用者様の事故を減らすという部分と、もう一つは虐待の抑止力にもなりますし、逆にカスタマハラスメント。職員が利用者様から叩かれたりした時のお互いの抑止力になるカメラという事で、全部屋にカメラを今年設置されていますので、この形でICT化をしています。また介護ロボットHAGも去年補助金で入れまして、職員も高齢化していますので移乗する時に、利用者様と一緒に転倒してはいけないので介護ロボットと一緒に大きな利用者様の移乗するという形で、職員が働きやすい環境を整える事での人材確保面と利用者様の安全面の二つを併用して行っていますけれど、これについて、法人指導課の方、処遇改善はつくのでしょうか？

ご意見：(法人指導課)

ちょっと直ぐには回答出来ないのですが、また回答させていただいてよろしいですか？

(施設長)：処遇改善というものがあまして、人員が揃ったり、このような介護福祉職員が何割以上いたりとかによってつく加算、給付が多めにつくという事があるので、それに関しては調べてまた議事録でご報告させていただきます。

※ 議事録作成時にはまだ、返答なく連絡待ちの状態です。

他になにかご質問はありますか？

ご意見：(地域包括支援センター)

ヒヤリハットを見つけよう月間をされたと書かれているのですが、これをしたので、他の月より多く挙がっている感じですか？

(施設長)：そうですね。そもそも当施設では、月に1人一枚は出すように指示しているのですが、一枚は出しているので内容としてはありきたりな内容になってきて

いるので、もう一度、自分の視点を変えてもっと違う所に無いかな、見つけてみようという事も含まれているので、視点を変えた所で挙がってきているかなと思います。

ご意見：(地域包括支援センター)

この記載されている中で、深めるという作業も皆さんでカンファレンスをしておられるのですか？

(施設長)：ヒヤリハットは一人では無く、同じユニットの職員2人以上で、自分のヒヤリについて深めて貰って、コメントを書いて印鑑を押してもらい提出するように義務付けています。ベテランの方に見て貰って判を押してもらう事が多いです。

ご意見：(地域包括支援センター)

では、ヒヤリハットなどパソコンのソフト上に記録している物を見て共有されているのを見ましようとなっているのですか？

(介護支援専門員)：

記入したものを主任などに見て貰って、書面で回覧して全職員が目を通すようになっています。

(施設長)：回覧して全職員と、主任の判を押して個人のファイルに綴じてヒヤリ等の特徴を共有するようにしています。

ご意見：(地域包括支援センター)

有難うございます。いっぱい書いておられるのをどう活かしておられるのかなと知りたかったのです。

(施設長)：転倒に関しては多いのですが、転倒のヒヤリや事故が多いのは、身体拘束をしていない事なので、自由の裏にはリスクが有るので、転倒させるな、怪我させるなと指示すると、職員は『座ってて』『じっとしてて』という話になってしまうので。ですので私は事故が多いを見て、私の方針に従って利用者様の自由を守ってくれているのだなと。個室で転倒してしまうのは防ぎようが無いので、ただそれで開き直らずに、少し見守りを増やそうかとか気にしておかないと、など予知能力は上げて行って欲しいと話します。転倒や、改善パターンが同じものは増えてきていると思います。

(施設長)：他に何かございますか？

ご意見：(法人指導課)

ヒヤリハット以外の所になりますが、1ページ3のリスクマネジメントの項目で2月20日に消防の訓練をされていますが、夜間を想定した訓練もされているのですか？今回はされていないと思いますが。されていらっしゃるでしょうか？

(施設長)：そうですね。夜間も年に何回か入れまして、一つはユニットごとの連携と宿直が入りますので、宿直を入れた連携、鍵を開けて貰い、誰がAEDを持ってい

く、誰がユニット兼務するなどの連携の訓練や、夜間帯、ユニットで1人なのでAEDの使い方の訓練をこちらは4月に必ず行っています。夜間の緊急時の対応の見直しや連絡方法など毎年4月に入れて行っています。

ご意見：(法人指導課)

実際に出火があった時、地震が起きたなどで利用者様を運び出すような訓練もされていますか？

(施設長)：シートで運ぶ練習をしています。基本的に鉄骨で防火が入っていますので水平避難を指示しています。色んな所に動かすと危険なので右で火事が起きたら左の外に避難。左で火事が起きたら右に避難していきましょうと。ハザードマップには載っていませんが、万が一洪水が起きたら上に上がりましょうと。下手に外に出る方が危険と判断して対応しましょうと。

ご意見：(法人指導課)

分かりました。(2ページ)6のその他の項目で、ご家族の面会もたくさんあるのだなと思ったのですが、オンライン面会は実施が出来た事が有ったのですか？

(施設長)：コロナで直接面談を制限した時は、オンライン面会をしていました。直接の面談をOKにしましたので、オンライン面談はもう無くなりました。

ご意見：(法人指導課)

便利だからとオンライン面談を続けてますという訳ではないんですね。お会いしたいですね。

(施設長)：そうですね。お部屋で会う事をOK出しましたので。

ご意見：(法人指導課)

今は面会の制限とか、時間とか人数とか設けているのですか？

(施設長)：時間は、運営規定に載っている夜20時までの時間でお願いしますという事で。たくさんの人数は避けて欲しい2~3人くらいまででお願いしていますし自宅に戻る事(外出)も許可出しました。基本的には全部介助の方針でやっています。

ご意見：(法人指導課)

事業所さんによっては対応が全然違うので、まだご自宅や外食なども認められないですという所も多いなかで、一緒に過ごす時間も多いと、家族様も本人様も喜ばれますよね。

ご意見：(民生委員)

時間は30分ぐらいなんですか？

(施設長)：地域包括センターの方はどうですか？

時間制限はせずに、基本的にはコロナの無かった時期に戻して行こうと言う方針でやっています。コロナの感染経路が、食事介助と入浴介助とか服薬介助の

接近する時に感染していたので、職員に協力して貰い今だにフェイスシールドを着用にしています。去年はサテライトのまつかぜの郷は1回もクラスターは起きていないしインフルエンザも広がっていないので、そのような職員の協力とフェイスシールド効果で、面会を制限しなくても職員が協力して貰えることでコロナ感染など抑えられている状況です。

ご意見：(民生委員)

私の兄が、東京の施設で入居したのですが、面会は食事時間を外して下さい。それと時間は30分くらい。人数は制限されていなかったのですが、時間を制限されている所は多いんですね。

(施設長)：そうですね。先ほど法人指導課の方が言われた通り、施設によってはまだ厳しいところもありますし、2組以上は入れないとか施設長会議でもピンからキリまでですし、いまだにクラスターが起きている施設もあり、数施設で20人ほど出たと最近も聞きましたので、20人出るようですと、やはり制限もかけないといけないです。うちの施設ではコロナが無かった時期に戻して行こうという考えでいます。

ご意見：(民生委員)

こちらは小規模施設という事で30名ほどの施設ですが、規模にもよるのでしょうか？

(施設長)：本体のまつかぜの郷は50床ですが、同じ方針ではぎの郷と同じ対応ですが偶然かもしれませんが、クラスターは起きていない状況なので。なるべく家族との時間は大事にしていきたいという方針の一つです。
転倒にしてもコロナにしてもリスクを背負って自由を選んでいただこうと。リスクを恐れて全部制限を掛けてしまったら、何も楽しみが無くなってしまうので。

ご意見：(民生委員)

餅つきなどもね。高齢の方は喉につかえる事故が結構ニュースで報道されてこれも制限したら危ないと言っていたら、餅つきなども出来ないですね。

(施設長)：餅つきは餅でつきますが、食べるのは栄養士さんの指導で白玉粉で作ったので、それは変化をつけさせてもらっています。

他に何かございますでしょうか？

ご意見：(地域包括支援センター)

では、退居者様2名と言うのはお亡くなりになられたのですか？

(介護支援専門員)：

お1人はお亡くなりになりまして、お1人は病院に入院されて施設に戻られるのが難しく、療養の方に行かれることになり退居になられています。

ご意見：(地域包括支援センター)

ここ（はぎの郷）でという形ですか？

（施設長）：そうですね。看取りの方でしたので。

ご意見：（地域包括支援センター）

なるほど、こちらで最期までという方もいらっしゃるのですね。

それはこちらできちんと勉強会などもされていたり？

（施設長）：そうですね年に1度看取りの研修を行って。正看護師がいないので看取り加算は取っていないですが、加算をいただくのと同じ体制で実施しております。

ご意見：（地域包括支援センター）

その際はご家族様も来ても良いし一緒に過ごせる感じでされているんですか？

（施設長）：看取りは2つのパターンに分けていまして、グレーゾーンにはなるかもしれませんが、看取りを早めにとられる方もいるのですが、その方と最終期とに分けておりまして、医師からあまり長くは無い、最終期に入られていますよと言う方に関しては親戚の方に10人でも来て頂いて、泊まっていたいただいても良いですよという体制で、普段の時は泊りは無しで2つのパターンでさせていただきます。

ご意見：（地域包括支援センター）

それは大変ですね。有難うございます。

（施設長）：有難うございます。家族様は何かございますか？○野様、ご飯などは美味しいですか？

ご意見：（利用者）

「まずいです」

（施設長）：まずいですか！何か食べたい物はありますか？リクエストとかはありますか？

こういう事がしたいとか。

ご意見：（利用者）

それは無いですけど。

ご意見：（利用者家族）

実は、昨年5月に脳梗塞で倒れたんです。最初は急性期の病院で、40日間そこにいまして、その後リハビリテーションで4か月になるんですけども。食事は、そこではほとんど受け付けないと言うか、ほんとに幼児が食べるくらいの量しか食べなくて体重も20キロくらい減ってしまった。それでずっと心配していたのですけれども、昨年10月にこちらにお世話になり始めて今、言葉ではそんな事言いますけれども、私的には食事が口に合う様で前は病院食で味気なかったのがここに来てから体重もある程度リカバリーして、完全に前と一緒に戻ってはいないのですが、心配しなくても良くなるまで回復しているのでも有難いと思っています。ちょっと口が悪くて、逆にそんな希望があるという事で喜んでいきます。色々助かっています。

(施設長)：食べたい物があれば、また家族にお願いして。ファーストフードとか、こちらの食事はきちっとしすぎていて、たまに皆さん偶のお好み焼きとか食べたいのですよね。また家族様に依頼して持ってきていただくこともできますので言って下さいね。

ご意見：(利用者)

はい。

ご意見：(利用者家族)

本当に、食事のメニューなど載っているのを見て、行事食とか見ると自分が食べたいなど。自分の食事は自炊しているので。

(施設長)：お正月は豪華ですよ。我が家のより豪華だと思います。ウナギが出ておせちが出てね。

ご意見：(利用者)

でもこれくらいで、ちっちゃいから。

(施設長)：そうですね。ウナギとか出てももっと大きい方が良いですものね。

ご意見：(利用者家族)

栄養面とかカロリーとか健康面を考えての量ですからね。

(施設長)：あとは、セブンイレブンさんが月2回来て貰っているのですが5000円位でカップラーメン買っている方もいるので、そのような物も利用して頂いて食べるのも楽しみの一つだと思いますので、家族様が許して下さいれば一緒に職員が付き添って訪問販売の所まで誘導して買って貰う事も出来るので。

ご意見：(利用者家族)

それは、お菓子とか蜜柑とか随時、車椅子を押してもらって利用させて貰っています。

(施設長)：それで補っていただき少しでも楽しく良い生活に近づけるようにと思います。家族様も何か要望があれば、仰っていただけたらと思います。

ご意見：(利用者家族)

今の所は随分良くして頂いて、有難く思っています。

(施設長)：有難うございます。他には何かございますでしょうか？

では、これを持ちまして、第6回運営推進会議を終了したいと思います。皆さんお忙しい中、足を運んでいただきまして有難うございました。今後ともご指導よろしくお願い致します。

以上

次回は令和7年5月26日開催予定